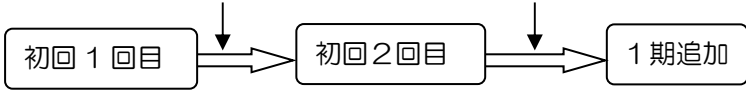
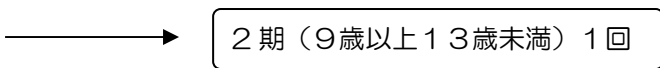


日本脳炎予防接種の説明

接種対象年齢	<p>1期：生後6月から7歳6か月に至るまでの間（3回） （望ましい接種年齢は、3歳～5歳）</p> <p>2期：9歳以上13歳未満（13歳の誕生日の前日まで）（1回）</p> <p>【特例措置】 ※平成7年4月2日生～平成19年4月1日生の方は、20歳未満の間 ※平成19年4月2日生～平成21年10月1日生の方は、9歳～13歳未満の間 } 残りの不足回数分を定期接種として接種できます。</p>
ワクチンの種類	不活化ワクチン
予防する病気	<p><日本脳炎></p> <p>日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。ヒトからヒトへの感染はありません。流行は西日本地域が中心ですが、ウイルスは北海道など一部を除く日本全体に分布しています。飼育されているブタにおける日本脳炎の流行は毎年6月から10月まで続きますが、この間に、地域によっては、約80%以上のブタが感染しています。以前は小児、学童に発生していましたが、予防接種の普及などで減少し、最近では予防接種を受けていない高齢者を中心に患者が発生しています。感染者のうち100～1,000人に1人が脳炎を発症します。脳炎のほか髄膜炎や夏かぜ様の症状で終わる人もいます。脳炎にかかった時の死亡率は約20～40%ですが、神経の後遺症を残す人が多くいます。</p>
接種回数	<p>●標準的な接種</p> <p>1期：初回接種は6日以上標準的には6日～28日の間隔をおいて2回、追加接種は6月以上、標準的にはおおむね1年を経過した時期に1回</p> <p style="text-align: center;">（6日から28日までの間隔） （6月以上、標準的におおむね1年）</p> <div style="text-align: center;">  <pre> graph LR A[初回1回目] -- "(6日から28日までの間隔)" --> B[初回2回目] B -- "(6月以上、標準的におおむね1年)" --> C[1期追加] </pre> </div> <p>2期：9歳以上13歳未満で1回</p> <div style="text-align: center;">  <pre> graph LR D[2期（9歳以上13歳未満）1回] </pre> </div> <p>※特例措置の対象者は、過去に受けられた接種歴等でスケジュールが異なってきます。母子手帳で接種歴を確認の上でかかりつけ医へご相談下さい。接種歴がご不明の場合は佐賀市健康づくり課へご相談下さい。</p>
実施時期	年間通して実施
実施場所	個別予防接種実施医療機関
注意事項	<p>幼児期に受ける1期の初回接種2回と次年度の追加接種1回の計3回の接種で基礎免疫ができます。できた抗体の力は徐々に薄れていってしまいます。そこで2期（9歳以上13歳未満）の時に追加免疫をする必要があります。2期を受けるときに基礎免疫ができていないと効果がありません。幼児期にしっかりと基礎免疫をつけましょう。</p>
副反応	<p>接種1日目にピークとして発熱がみられ、他に局所反応として注射部位の腫れ、じんましん、発疹などもみられています。</p>
備考	<p>各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。 必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。</p>